

情報判定シート

情報判定シート

題名	情報収集の視点			④検討に見合う情報か	⑤総合的な検討の必要性	⑥緊急な情報提供の必要性	自由意見
	①健康被害の未然防止	②危害の拡大防止	③正しい情報提供				
1 キノコによる食中毒について	×	×	△	—	—	—	
	×	○	△	○	×	×	毒きのこについては多数のネガティヴリストとしての情報があるにもかかわらず毎年被害が絶えない。食用きのこか、安全なきのこかを相談できる、容易に鑑定してもらえる窓口がないとなかなか被害が減らない問題。ただ、毒キノコ被害の情報は採取時期に合わせないと効果的ではないのでは。
		○	○	○	○	○	最近 キノコによる食中毒が多発しており、都民に正しい情報を提供すべきである。
	○	○	○	△	△	×	情報の提供方法を十分に検討する必要がある。
	○	○	△	○	○3	×	キノコの食中毒は、毎年キノコのシーズンになると必ず起こっている。注意を促す数々の情報があるにもかかわらず、食中毒がなくなる現実を受け止め、都民への情報提供の必要性を感じる。
2 ハーブに関する情報発信について	×	△	○	○	○2	×	緊急性はあまりないと思いますが、検討しても良いかと思います。
	×	×	△	△	×	×	ハーブ全体の安全性について詳細を知らせるのはきわめてむずかしい。生薬としても、あるいはその成分を化学薬品中にも使用する例が多いので、食品としての範囲では「煎じてはいけない」「多用してはいけない(ただし味覚的に使用量にはおのずと限界があるが)」「具体的な被害例があれば知らせる」などの対応が妥当。よもぎ・マグワートもフェンネルもあまりにもポピュラーでかつ広く使われているハーブなので安全情報の特別な対象となることに違和感がある。
							ハーブに関しては毎回話題として取り上げられており、問題点も指摘されていることから、新年度の事業として検討しては如何でしょうか。
	△	×	○	△	△	×	英国食品基準庁のような何を食べるべきか、何を避けるべきかという情報の提供の仕方は、妊婦の人に有用だと思う。
	○	△	○	○	○2	○	自宅でのハーブ栽培やハーブティーなどのハーブ食品がかなり普及している昨今だが、ハーブの安全性をしっかりと認識しているかどうか疑問を感じる。

情報判定シート

題名	情報収集の視点			④検討に見合う情報か	⑤総合的な検討の必要性	⑥緊急な情報提供の必要性	自由意見
	①健康被害の未然防止	②危害の拡大防止	③正しい情報提供				
3 化学物質の食品への移行	○	△	○	○	○1	△	情報が十分にあるのかはよく知りませんが、検討することはよいと思います。
	×	×	○	△	○	△	食品の安全性・健全性の問題なのか、保存や流通の段階で過去にはなかった特殊な問題なのか、こういうクレームの場合にどうい対応が必要なのかなど評価委員会でとりあげてもよい問題だと思うが、クレームが香り・におい・臭気などにかかわっていることが気になる。
	○	○	○				緊急な情報提供が必要であると考えますが、既に国から情報が提供されており、都で取り組む必要がないと思います。
	○	△	○	△	△	×	消費者よりも流通等の業者が対象となるものが多い。「化学物質」というよりも「異臭物質」または「化学物質臭」の方が適当だと思う。
	○	△	○	○	○1	○	レトルト食品やカップ麺などの容器に使用されている化学物質が食品に移行される可能性や化学物質が食品に移行することによる食品への影響などの情報を都民に提供する必要があると感じる。